

指定管理者候補の選定結果について

下記のとおり、指定管理者の「候補」を選定しました。指定管理者の指定については、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を経る必要があり、20年12月議会の議決を経た後に正式に指定することとなります。

1 指定概要

(1) 施設概要

名 称：北九州市立年長者研修大学校周望学舎
所 在 地：北九州市小倉北区新高田二丁目29番1号
施設内容：研修室、実技室、宿泊室、食堂、浴室、体育館、駐車場等

名 称：北九州市立年長者研修大学校穴生学舎
所 在 地：北九州市八幡西区鉄竜一丁目5番1号
施設内容：研修室、調理実習室、音楽室、和室、図書室、喫茶室、駐車場等

名 称：北九州市立北九州穴生ドーム
所 在 地：北九州市八幡西区鉄竜一丁目5番2号
施設内容：屋内グラウンド約5,400㎡、スタンド(2階)約1,100席、
会議室、ロッカー室、駐車場等

主な業務内容：年長者研修大学校及び生涯現役夢追塾の運営
年長者研修大学校及び北九州穴生ドームの維持管理

(2) 指定期間

平成21年4月1日～平成26年3月31日

(3) 指定管理者候補の概要

名 称：社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会
所在地：北九州市戸畑区汐井町1番6号
主な業務内容：地域福祉の推進、校(地)区社協の育成・支援、区社会福祉協議会との事業の調整、ボランティア・地域福祉活動者の育成、介護予防に関する事業の推進、地域福祉権利擁護事業等

2 指定の経緯

平成20年 7月 募集開始
平成20年 8月 現地説明会
平成20年 9月 募集締め切り

平成20年10月 応募者によるプレゼンテーション及びヒアリング、指定管理者検討会

平成20年11月 指定管理者候補を決定

(1) 応募資格

- ・法人、その他の団体で、本社、本店又は主たる営業所、事務所等を事故など緊急な対処を要する事態が発生した場合に迅速に対応できる場所に有するもの(個人での応募は不可)。
- ・グループでの応募も可能。その場合は、応募時に共同事業体を結成し、代表団体を定め、上記の要件をその代表団体に求めるもの。

(2) 応募状況

募集要項配布：4団体

説明会参加：4団体

応募件数：2団体(社会福祉法人北九州市社会福祉協議会、NPO法人A)

3 選定方法

年長者研修大学校周望学舎・穴生学舎及び北九州穴生ドーム、新門司老人福祉センター指定管理者検討会の意見を踏まえ選定。

4 検討会構成員

- ・[学識経験者] 伊藤直子(西南女学院大学保健福祉学部教授)
- ・[財務専門家] 小宮 徹(小宮公認会計士事務所所長)
- ・[学識経験者] 中村貴志(福岡教育大学教育学部教授)
- ・[利用者代表] 中村久美(北九州市老人クラブ連合会副会長・女性部長)
(五十音順)

5 選定基準

選定基準(=審査項目)目及びポイント	
1 指定管理者としての適性	
(1) 施設の管理運営(指定管理業務)に対する理念、基本方針	応募団体が、市の当該分野における基本的な政策や計画、あるいは施設の設置目的や性格等を十分に理解した上で、それらに適合した管理運営(指定管理業務)に対する理念や基本方針を持っているか。
(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	長期間安定的な管理運営(指定管理業務)を行っていくだけの人的基盤や財政基盤等を有しており、又は確保できる見込みがあるか。
(3) 実績や経験など	応募団体が同様、類似の業務の実績を有しており、成果を上げているか。 応募団体が施設の管理運営(指定管理業務)に関する専門的知識や資格、経験を十分に有しており、熱意や意欲を持っているか。

2 管理運営計画の適確性

【有効性】

(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み

施設の管理運営(指定管理業務)に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。

施設の利用者の増加や利便性を高めるための実施可能な提案があるか。

複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られる提案があるか。

施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。

(2) 利用者の満足度

利用者の満足が得られるよう十分に考えられているか。

利用者の意見を把握し、それらを反映させる仕組みを構築しているか。

利用者からの苦情に対する対策が十分に考えられているか。

利用者への情報提供が図られるよう十分に考えられているか。

その他サービスの質を維持・向上するための具体的な提案がなされているか。

【効率性】

(3) 指定管理業務に係る経費

指定管理業務に係る費用が妥当なものであるか。

経費を低減するための実施可能な提案があるか(市の仕様書の変更による効率化を含む)。

利用料金制を導入する施設については、利用料金の設定が適切であるか。

施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支計画の内容が合理的かつ妥当なものであるか。

清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われる場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫されているか。

(4) 収入の増加に向けた創意工夫

収入を増加するための実施可能な提案があるか(利用料金の改定を含む)。

【適正性】

(5) 管理運営体制など

施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。

施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であるか。

施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員が必要な資格、経験などを有しているか。

職員の資質・能力向上を図るよう考えられているか。

地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。

(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

施設の利用者の個人情報保護のための対策が十分に考えられているか。

利用者の選定等が平等、公平に取り扱われるよう配慮されているか。

日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の対応などが十分に考えられているか。

防犯、防災対策や非常災害時の危機管理体制などが十分考えられているか。

6 審査結果

(1) 得点

選定基準 (= 審査項目) 目及びポイント	配点	北九州市社会 福祉協議会	A
1 指定管理者としての適性			
(1) 施設の管理運営(指定管理業務)に対する理念、基本方針	5	4.25	3.50
(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	5	4.50	3.25
(3) 実績や経験など	5	4.00	3.00
2 管理運営計画の適確性			
【有効性】			
(1) 施設の設置目的の達成に向けた取り組み	20	14.00	14.00
(2) 利用者の満足度	10	7.50	7.50
【効率性】			
(3) 指定管理業務に係る経費	20	16.00	15.00
(4) 収入の増加に向けた創意工夫	15	10.50	10.50
【適正性】			
(5) 管理運営体制など	10	7.50	6.50
(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	10	8.00	7.50
合計	100	76.25	70.75

(2) 選定された団体の提案内容及び審査結果等

【主な提案内容】

- ・ 社会へ貢献できる人材を育成するために知識と実践の一体型カリキュラムの推進。
- ・ 年長者研修大学校において、福祉施設等で実践的に学べる専門コースを新設し、地域活動を担う人材を育成。
- ・ 団塊世代や一般市民を対象とした公開講座を土・日曜日に開講。
- ・ 団体のネットワークを活用した事業の推進、情報の収集等
- ・ 地域活動情報支援センターを新たに設置し、修了生の地域活動等を支援。
- ・ 利用者ニーズへの適切な対応や、経営の透明性の確保等のため、第三者で構成される運営・改善委員会の設置。
- ・ 年長者研修大学校・北九州穴生ドーム及び夢追塾の統括責任者として、年長者研修大学校所長の配置や、各事業の庶務・経理事務の一元化等により、効率的な運営体制を構築して経費を低減。
- ・ 収入の増加のため、自主講座の開催や広報紙やリーフレットなどへの広告掲載等。
- ・ 地球環境にやさしい運営の実現のため、生ゴミの堆肥化、屋上緑化、雨水の

利用等。

【審査結果】

- ・ 北九州市社会福祉協議会は、年長者研修大学校及び北九州穴生ドームの設置目的などについて十分理解しており、管理運営の基本方針も適切である。
- ・ 安定的な人的基盤と財政基盤を有し、昭和54年から周望学舎、平成6年から穴生学舎・北九州穴生ドームの運営を受託し、平成18年度に指定管理者制度導入後も指定管理者として管理運営を行うなど、長年の経験と実績があり、長期間安定的な管理運営が期待できる。
- ・ 「地域活動情報支援センター」を設置し、専任コーディネーターを配置して、研修生の地域活動への参加等を支援すること、また、「運営・改善委員会」を設置し、利用者の声を研修の質の向上や施設運営に生かすことなど、利用者サービスの向上に向けた提案は評価できる。
- ・ 経費面においては、庶務・経理事務の一元化などにより運営経費の削減が図られている。
- ・ 募集提案後に公表された「北九州市経営プラン(案)」で200億円規模の収支改善目標を市が示したことを受け、提案額から1割(16,720千円)の経費削減を行う旨をプレゼンテーションにおいて表明するなど、経費削減に対して高い意欲を感じる。

【検討会の付帯意見】

- ・ 職員の一般的な研修に加え、役割に応じた専門的な研修も実施し、質の向上を図るなど、経費の削減がサービスの低下とならないような管理運営を行っていただきたい。
- ・ 年長者研修大学校と一体的に運営する「生涯現役夢追塾」の運営方法について、やや具体性に欠けている面がある。

7 提案額(21年度～25年度までの各年度)

提案額：167,227千円

(なお、プレゼンテーション時に表明した1割の経費削減を反映した額は、150,507千円)